

2020年9月16日

各位

会社名	株式会社ブリヂストン
本店所在地	東京都中央区京橋三丁目1番1号
代表者	取締役 代表執行役 CEO 石橋 秀一
上場取引所	東京・名古屋(各一部)及び福岡
コード番号	5108
問い合わせ先	責任者役職名 G財務戦略本部長 兼 資金・IR部長 氏名 剣持 徹夫 電話番号 (03)6836-3100

フランス・ベチューン工場の閉鎖について

株式会社ブリヂストンの欧州グループ会社であるブリヂストン フランス エスエーエスは、2020年9月16日(現地時間)、同社が保有するベチューン工場の閉鎖に向けて関係者と協議を開始することになりましたのでお知らせします。

1. 工場閉鎖に向けた協議開始の理由

当社グループは、中長期事業戦略の実行に向けて、「コア事業」であるタイヤ・ゴム事業と、「成長事業」であるソリューション事業による当社独自のビジネスモデルを構築していきます。タイヤ・ゴム事業においては、生産拠点の最適化を含めた経費・コスト構造改革とともに、プレミアムビジネス戦略強化等を進めて「稼ぐ力の再構築」を図っており、本件は欧州グループ会社におけるその取り組みの一環です。

近年、欧州の乗用車用タイヤ市場では業界の収益構造が悪化傾向にあり、加えて需要が伸び悩む低インチタイヤ^{※1}の供給能力が過剰気味になるなど競争環境は厳しさを増しています。一方、高インチタイヤ^{※2}の需要は堅調に推移しているため、欧州グループ会社は、プレミアムビジネス戦略として、高インチタイヤの販売強化を進めつつ、低インチタイヤの供給能力を見直して生産性の改善を図るなどの改革に取り組んでいます。ベチューン工場は低インチタイヤを主に生産しており、製造設備などの制約から高インチタイヤへの生産シフトは困難な状況です。こうした状況を踏まえ、ベチューン工場の操業継続のためにあらゆる可能性を検討しましたが、競争力を維持しながら同工場の操業を継続することは難しいと判断しました。

今後、ベチューン工場閉鎖に向けて関係者と丁寧な協議するとともに、工場閉鎖により影響を受ける863名の従業員とその家族、地域社会への影響が最小限に留まるよう真摯な対話を継続します。

当社グループは、事業環境の変化に応じたポートフォリオの最適化や戦略的なリソース配分を通じ、将来にわたって持続的に社会価値・顧客価値を提供し続けるソリューションカンパニーへ進化していきます。

※1 タイヤ内径(装着されているホイールのサイズ)が18インチ未満のタイヤ。主に一般的な乗用車などに装着されます。

※2 タイヤ内径が18インチ以上のタイヤ。SUV(スポーツ用多目的車)やスポーツカーなどに装着されます。

2. ベチューン工場の概要

1. 所在地 : フランス共和国 オー・ド・フランス地域圏 パ・ド・カレー県
2. 工場長 : Philippe Burnage(フィリップ・バーナッジ)
3. 生産品目 : 乗用車用タイヤ
4. 操業開始 : 1961年
5. 従業員数 : 863名(2020年9月16日時点)
6. 生産能力 : 約17,000本/日

3. 業績への影響

本件が当期の連結業績に与える影響については、算出可能になり次第、速やかに開示します。

以上